

# 平成 23 年度第 2 回修習セミナー報告



広島県 電気電子部門

氏名 小田宗孝

所属 中国支部

6月4日に、第2回修習セミナーが行われましたので、報告致します。今回は、年1度の中国支部以外での開催にあたり、山口県湯田温泉にて一次二次合格者祝賀会と同日に行われました。山口からは支部でのセミナーは遠路となりますので、いつも参加できない多数の方に参加頂きました。

講演内容は、山下祐一委員による、「技術士試験に求められるもの～論文の構成と記述内容について～」と題し、制度の概要説明と、論文の構成演習を行いました。

## 1. 技術士に求められるもの

技術士の制度や行動原則・業務について解説され、技術士に求められている能力の解釈として「単に問題の答えを出す」のではなく「幅広い専門知識により複数の角度から工夫して解決する能力」と説明されました。



講演風景

## 2. 論文の構成と記述内容について

一般問題については、昨年出題された各部門の問題を例に、①論理的考察力：課題解決において、問題点を抽出～解決策までの筋道論拠の必要性。②課題解決能力：課題に対して多様な視点から検討し論理的合理的に適切な対応する。2点の必要性について説明され

ました。

専門問題についても同じく昨年の問題を例にとり、①基礎理論の理解等、地力を付けること。②経験を無駄にせず、業務上での課題解決例を整理して力にする。2点の必要性を説明されました。

まとめとして、論文全般のチェックポイントを技術士の能力、つまり「技術コンサルティングを行うに足る、伝達力・説明力を試されていること」と括り、文章表現力が技術士の基本である事を再認識させられました。

## 3. 課題解決実習

新聞記事の切抜きを準備され、記事についての各部門における技術的課題と今後の取り組みについて説明する実習を行いました。参加者からは、問題点の抽出手法や解決策について、活発に質疑がなされ、前段の論文構成方法のおさらいが出来たと思います。



演習風景

## 4. 最後に

支部開催のセミナーには広島県外の方は参加し難いと思います。中国支部修習技術者全体のモチベーションアップの為に、これからも移動セミナーを開催していきたいと思っております。多数のご参加をお願いします。